

第5回養老町学校のあり方検討委員会 議事概要

- 1 日 時 令和7年3月17日（月）午後7時～
- 2 場 所 養老町役場 3階第2会議室
- 3 出席委員 学識経験者2名、町議会代表1名、町校長会代表2名、こども園代表1名、保育園代表1名、保護者代表4名、一般公募2名、
その他教育委員会が適当と認める者1名

4 議事の概要

◆ あいさつ

教育長、委員長によるあいさつを行った。

◆ 協議事項について

◎ アンケート調査項目の集計結果について

- ・ アンケート調査の集計結果（中間報告）を踏まえ、各委員から意見や感想を伺った。
- ・ 集計結果を踏まえ、何に焦点をあて分析をするとよいか、分析結果から何を見いだしたいかなど、委員から意見を伺った。

◎ 諮問事項等について協議

- ・ 諮問の内容、時期、こういった報告書にするかなど、諮問内容について委員から意見を伺った。
- ・ 諮問事項である「小学校の適正規模と適正配置」について、委員から意見を伺った。

【委員からの意見】

- ⇒ 適正規模について、どの校舎を使うのか。コスト面については別の議論が必要。
- ⇒ 町としてどうするか、道筋をある程度立てたほうが良い。
- ⇒ ハード面とソフト面の両面から考えていかないといけない。
- ⇒ 校歌、学校経営、子どもたちをどう育てていくのか、単純に統廃合ではなく、学校づくりが大事。
- ⇒ 皆が幸せになれる学校づくりをすることが大事。新たな未来ある学校像を考えていかないといけない。
- ⇒ 軸足を子どもに置き、教員はそこを認識しないといけない。
- ⇒ 目の前の子どもをどうするか、子どものためにどうするかそれが全て。
- ⇒ 第4回検討委員会時に皆さんで決めた3つの願いを大事にし、総合的に考えていかないといけない。
- ⇒ アンケート結果から、将来の学校像を現状維持と回答している割合が4分の1と考えると、この先、現状維持はありえないだろう。具体的な策を示し、スピード感をもって取り組んでいかないといけない。
- ⇒ 統廃合については、義務教育学校も含めて検討していかないといけない。それぞれのメリット・デメリットをシュミレーションして議論していきたい。